

汎用インバータ内蔵オプションFR-A7NL ソフトウェアバージョンアップのお知らせ

平素より当社駆動制御機器につきまして格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
汎用インバータオプションFR-A7NLにおいて、使いやすさ向上を図るため、ソフトウェアをバージョンアップ致しますのでお知らせします。

記

1. 対象機種

FR-A7NL

2. 変更内容

バイナリ形式のデータによるインバータへのコマンド要求/コマンド返信のネットワーク変数を追加します。

(1) コマンド要求 (バイナリ) (network input SNVT_preset nviInvCmdBinReq)

ネットワーク変数では操作できない運転モードの書換え、パラメータの読出し、書込み、アラーム履歴の参照、パラメータクリアなどの実行のための命令コードや書込みデータの設定ができます。バイナリコードでのコマンド要求は、アスキーコードでのコマンド要求より通信データ量が少なく済みます。

ファンクションコード	H02 : LN_LEARN_VALUE	コマンド要求する
	H02 : LN_LEARN_VALUE 以外	コマンド要求しない
要求コード	取扱説明書のコマンド一覧を参照して命令コードを設定してください。	
書込みデータ	書込み要求時に、データを設定してください。 (読出し要求時は、設定した値は無視されます)	

- ・データの受付タイミング..... ネットワーク変数受信時 (nv_update_occurs イベント) かつファンクションコード= 2 の時

(2) コマンド返信 (バイナリ) (network output SNVT_preset nvoInvCmdBinRply)

“コマンド要求 (バイナリ) (nviInvCmdBinReq)” で要求されたコマンドに対して、返信します。内容は、コマンド処理結果である返信コードと読出しデータが入ります。バイナリコードでのコマンド返信は、アスキーコードでのコマンド返信より通信データ量が少なく済みます。

ファンクションコード	H02 : LN_LEARN_VALUE	コマンド正常完了
	HFF : LN_NUL	コマンド実行エラー
返信データ	読出し要求時に、要求データが返信されます。(書込み要求時には任意の値が返信されます)	

●ファンクションコードと返信データの関係

コマンド実行結果 (ファンクションコード)	nviInvCmdBinReqで設定した 要求コードの種類	返信データの内容
H02 (コマンド正常完了)	読出しコマンド	読出しデータ
	書込みコマンド	書込みデータ (エコーバック)
HFF (コマンド実行エラー)	書込みコマンド	H01 : モードエラー (運転モードが異なる)
	読出し/書込みコマンド	H02 : 命令コードエラー (存在しない命令コードを指定した)
	書込みコマンド	H03 : データ範囲エラー (範囲外のデータを書込んだ)

- ・データ送出イベント..... コマンド処理完了時

発行 日付	2011年7月	件 名	汎用インバータオプションFR-A7NL ソフトウェアバージョンアップのお知らせ	三菱電機株式会社名古屋製作所 〒461-8670 名古屋市東区矢田南5-1-14 Tel (052) 721-2111大代表
----------	---------	--------	--	--

(3) XIF ファイルについて

バイナリ形式のコマンド要求/コマンド返信に対応したXIF ファイルがインターネット上の下記ホームページより無料でダウンロードできます。

① MELFANSwebホームページアドレス

<http://www.Mitsubishielectric.co.jp/melfansweb>

② ダウンロード方法

「TOP>インバータ FREQROL>ダウンロード」の「インバータXIFファイル」をクリックしてダウンロードして下さい。

※ ダウンロードには、ユーザ登録（無料）が必要です。

[注意]

FR-A7NLの製造年月を確認し、対応するXIFファイルを使用してください。対応するXIFファイルを使用しないと正常に動作しません。（下記の対応表を参照ください）

SERIAL(製造番号)の見方については「4. 製品識別方法」を参照ください。

FR-A7NL製造年月	SERIAL(製造番号)	対応XIFファイル(圧縮ファイル)
2011年6月以前製造	□16○○○以前	A7L7821A.XIF (a7l7821a.zip)
2011年7月以降製造	□17○○○以降	A7L7821B.XIF (a7l7821b.zip)

3. 製品切替時期

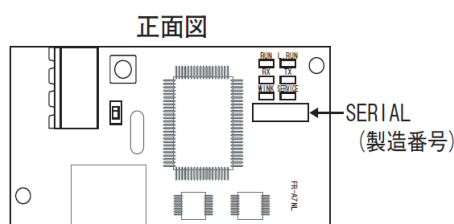
2011年7月工場生産分より順次実施します。

4. 製品識別方法

本バージョンアップ品は、オプション本体の定格名板に記載されている SERIAL(製造番号)が下記の番号以降となります。

<定格名板例>

□ 1 7 ○ ○ ○
記号 年 月 管理番号
SERIAL(製造番号)



SERIAL(製造番号)は、記号1文字と製造年月2文字、管理番号3文字で構成されています。製造年は西暦年の末尾1桁、製造月は1~9(月)、X(10月)、Y(11月)、Z(12月)で表します。